

古城小だより

旭市立古城小学校
平成31年4月22日
NO. 2



豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子の育成



新しい学年がスタートして2週間が過ぎました。入学、進級の喜びいっぱいの古城っ子は、元気に活動をスタートしました。平成31年4月8日。始業式に古城小学校さらに素晴らしい学校になるように、教職員も子供たちも、ともに目当てとして頑張ることを約束しました。これが「古城っ子はよくあそべプラン」です。

4月19日の学校経営説明でも話しましたが、改めて掲載します。



よくあそべ は「なかよくのよく」

子供は、遊びになかでルールを覚え、人間関係を構築し、他者を理解し、社会性を育てます。遊びを通して学ぶものは、大きいです。古城小学校の児童も、広い校庭で元気に遊んで欲しいと思います。子供の明るい声が響く学校にしていきたいです。

あ は「挨拶」「安全」

挨拶は、人と人のコミュニケーションのスタート。人として礼儀。これからも大切にしていきます。家庭教育でも挨拶をしっかりつけてください。家族に、友達に、先生に、地域の方に元気に挨拶できる児童を育てていきましょう。

安全も同じです。登下校の安全（交通安全）・校内での事故やケガへの注意・避難訓練（防災）など、安全に関わることは大変多いです。児童が自分で考え安全な行動がとれるように指導をしていきます。自他の命を大切にすることを育てます。

そ は「そうじ」「心をそろえる」

みんなで**そうじ**を頑張り、清潔で活気のある学校を目指し、勤労観の育成につなげます。**心をそろえる**ことは、自分以外の人の気持ちや立場を考え、協同（互いに心や力を合わせて仕事に当たること）することです。他者に目を向け、他社を理解し、ともに活動することは、新学習指導要領でも大切にしている部分ですし、本校の学校教育目標の「心豊かな子」にもつながると考えます。

べ は「勉強」「ベストをつくす」

学校は、**勉強**するところです。小学生として勉強を頑張ることは、当然のことです。ただ、勉強は、ノートや教科書を使ってやるものもあれば、読書、モノづくり、体を使うもの、歌うもの様々です。学校での様々な勉強に、一生懸命取り組んでほしいです。

家庭では、低学年20分、中学年40分、高学年60分を目安に宿題や自主学習に取り組めるよう、学校では指導しています。

そして、これらの勉強に「**ベストをつくす**」ことが大切です。勉強は、やってすぐに成果が見えるものもあれば、後になってその経験や学習が生きてくるものもあります。まずは、やってみる。結果ではなく、プロセスを大切にし、子供たちを認めていきたいと思えます。

「自ら学ぶ子」「たくましい子」の育成につなげていきます。

学校と家庭、地域が一緒になり、古城の子を育てていけるようにご協力をお願いします。

お知らせ



新しいスクールガード・リーダー

お子様のことで、何か心配なことがありましたら、担任または、学校に相談したり、連絡をしたりしてください。（68-2421）また、学校には、子どもが安心して相談できる「**相談窓口職員**」として**実川幸子教諭・多田昌広教諭・向後夕貴義護教諭の3名**がおります。また、**相談ポスト**も設置しています。

相談窓口とポスト

旭市教育委員会では、安全で安心な学校・地域づくりの推進に向け、「**旭市スクールガード・リーダー**」を配置しています。防犯ベストと帽子を着用し、13時から18時まで青色のパトロールカーで巡回しています。今年も、元千葉県警察官の**浪川頼寧**（なみかわよりやす）さんが担当します。よろしくお願いします。

今年も、学校の情報、児童の活躍などを掲載し、月に2回を目標にしながら学校便りを発行します。なるべく写真を多く取り入れながら作成したいと思います。どうぞよろしくお願いします。（今月は、まだ写真がありませんでした。）今年も、毎月5日、20日前後にお便りを発行する予定です。理由は、学級通信とは別に発行したいことと、今までよりも早く月の行事などを保護者にお知らせするためです。また、月は初めの号には、保護者の声をいただくコーナーを盛り込む予定ですので、今年も皆様からの貴重なご意見をお待ちしております。どうぞよろしくお願いします。